

		號	· •	Д	+	-		育	カ	يا	第					奉	<u>}</u>	E	\	Ä	鲜	草					H-	月四	年二十	正大	(ñ)	認勿更	都領王	第)	ā (<u>-</u>	<u>-</u>	71
当年第万戦・最初上下更・多なもった	の迫す狼様のみのみのの一切を見せれるというのでは、	農林試験場으로부터『예咐트』廠の 二十六日の多数計彈藥令配給もな (廣東電) 孫文氏七大元帥府寺 燗光軍王 既が南下から 雲南北の 第十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	兩軍危機 水路中便利小多些中沿海英中的海岸	地海開監督を命かい其意思を関か工更お各國の委員の任命を変求な	(上海 十日發電) 北京政府外海陽制度を改正な意志外有等なな 大大 16 上口 12 12 13 15 15 15 15 15 15 15	東 引 川 E 又 E 十 建	まずユ 馬城中連絡の中モ形勢外有む放星繁戒を贈り村 二十餘名の中國人共産黨員の同地方の入る。 (2017年) 127年 127日 127日 127日 127日 127日 127日 127日 127日	日本では、日本では、日本の	里方面 增兵	見びからから 医化学風味管筋圧では20mmは10mm	「北京電」 曩者の非盛順會派の日次定が中國開稅 會議を七月北京 「北京電」 曩者の非盛順會派の日次定が中國開稅 會議を七月北京	一共同管理复到可	1	可發揚 斗壺東川生む	얏 근	で開始하次可引	則♥ 日ン多少具體的 o 見辨日運電の又政界方面互顧司冷淡하り學: 医汀不耳無耳径。 ** 終記さず宮	1.資排尺の動機が引き憂慮がよれ意が中中國商人を此問題が再なた意が中中國商人を此問題が再な	対外に常山平一及人上であたり	告习條理小有計号逃引 (長少電) 中國政府习二十一個及文部省刊二十一個條 9可引	反對宣傳の呈因がの幾分問緩和を此そ全然虛報の引ュ臺灣銀行	校代表學生會議小開會司 医東哥支店や一日約一萬元母銀貨關하の二十八日敦育台の 医東哥支店や一日約一萬元母銀貨一十八日發電へ 二十一個 推去書當のダワユ宣傳も所以の外一十八日發電へ 二十一個	「最大」とは、一十一個條撤廢	「日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	(司盟を取하りまむめム可又豪駿7一日早可廿日間日貨の對から)	『東京行委は三名音推舉前史五四二年充用立外市中此書三大隊の公	い各地	進む故皇北京商界外外交問題の對から示威運動の窓加かり合き此小品がサエリ	提出女も即時國民及外交部の 週附かの全國民の希望の副の兄弟命法者等熱心の七大總統王深の 感激可思めたり中聯合合の決議の依む 七二十一個條約を國會の決議を根據三かの 沈然前廢止替者2商界諸士	向かり日 (化京電) 二十八日の開催を全員改列権合領の 低力に必力は選挙の時の陸軍次長金永炎にそ 黎大海統の代理呂總統府前の集合も群衆の	黎總統代理對衆聲明	(北京電) 張恩理や二十八日衆議院秘密会議では不遠間二十一個	個様工懇談的文字号使用おせいの旅順大連可回収す到お中と更可交渉の應せ事	村工承認量が	回通牒文内容	◇ 中國 政 局◇	
	定の豆朝鮮や朝鮮銀行の樺太や川 上山湖之進 (新)前 ゼル此関債や常初早の特別發行豫 岩倉道俱男(新)	千三百七十五圓) 李敬	東一分。一千二百五十萬二一の幹部が左外如可敗選軍の中の東一分の一千二百五十萬二一の幹部が左外如可敗選軍の中の東一の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	(第一囘)額向一千七百三十八萬八萬中。	司朝鮮樺太司各種事業費·支辨司 上之心 形號可借換及大正十一年度發行豫定 三斗云々	日償還期限31五分利附飼庫債券(東京發) 日本政府モ去月三		14、決定も後零時三分『散宵すめらず」」を終め事の十七川對外作と大下臨時職員設置制中改正件外三件3~多作證で及そのリエ又勢鮮象行	万等の對前の協議市立一、內務部3一次付金銀行司者の日政府外新司會の日格贊也該法案の裁可及整理外债金銀行司者の日政府外新司題の關党最近の解述書報告の役款。得前父命の己東拓七个同級費の		兄 日樞密院委員會の村日中郵便條約 銀移官の 對하ら如左向 云や家に 日樞密院委員會の村日中郵便條約 銀移官の 對하ら如左向 云や家に	朝銀移管問題	定例內閣議一、初期	地過激宣傳運動争調査中の라더라 一六月一日に月一日十二月	ツユ加賀美事務官や浦鹽の中谷事 一、川南 E-大久保事務官や二十九月の歸京司 一、償還期限	三十十三年 一十二年度 19移賛を経ず火や日調査方法を秘 十八圓 一圓を十二年度背算を計上も総合一、 遊行	1十六萬九千二百四十三圓十十 新規では十六萬九千二百四十三圓十十 第二十 第二十 第二十 第二十 第二十 第二十 第二十 第二十 第二十 第	海外の宣傳運動の真相を調査する 「異性異変了」千智百零一萬七年大惡化取締を一層周到州がも同時の一、發行總額 一千六百七十五四人東京電) 日本内務省を思想の	過激思想調查	野二十八票ュ	禁酒法中一部發止可刑 6 叶 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		文字の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	英國鐵道能業决議 (論) 并與鐵道能業決議	署で納入立れず七多數も獨逸商品の有하りの中華規劃が攻そ日同所のと佛軍管理の税割の納附を稅金	內可以秘密獨逸稅務署是發見可立佛軍士 即時同所(國際不用已是平單) 佛都官憲士 當地可小引擎	務署發目	は、「「「「「」」」」を表示している。 「「」」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」」とは、「」	「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、	獨外債發行抗議	日吾人・賠賞金の完全司支援ヨメロス「スペー』の軍隊士駐置お又はすめの中	佛首相駐兵期聲明	◆■歌 米 清 報■◆	不利也将一有也	對廣東政府間四周題外召叫其阻止 英中紡績學園學校是建設者計畫可以整門確臺四進過外阻止可以英四 漢者等可圖經賠償金二三世上海可東二三向年之途上可對北二三因年 (上海二十九日帝世) 英國紡績	キョン観+三十七日香港IA版 (原東三十八日報記) 英国観覧 設立 計 査 (原東三十八日報記) 英国観覧 設 中 紡 績 校	
	マイ此七十年以永專買制書實施む 春	十一年四月早时十二年二月7至 假(註)以上十一年度分統計七大正 時	「中一年 こった」「三川の大名の一部 前の一部 一年 二、六六、五三 三、四、九、150 銭 殿間九 年 一郎 一元、二三川の 大名 九三関 同	年度別 兩切口付登六四%可用更可其價格世比較可可	三十五%十年四十三%十一年六十 五三十五%十年四十三%十一年六十 四三十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	*オ十年、「売買売会」「完会元記 第六·要十年 ニールで会会 「完会元記 す	以九年三三三、0三千本元、1、三十本 開第二年度別 网切口 付特	女子算出す甲状製造品子 本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日本語・日	年十一年度で至沙内香の製造物量(今)北日顕著の増加市ツトリ即翌九年以第五次の五年以第五次の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の	サン分の此年を轉機里の五毎年減少 第四5月 中四對一可量のそ中兩切の製造品 籍	二十二%、價格の二十八%を示す 第四切百の對立口付の比率を本數の 第111年	日付 大大大堂 三三元、410 11、 兩切三五三、大关千本二、大人、「長人間 t	一量門 製造 高一量関格等サ對照でそ	日で需妥名中即大正八年中の朝鮮	況	九号受む者や此号前項コ種痘施術生總督の		子とよろりかりは重言を前にまかれている。 アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	格中州外中台州岸縣督中比至之中 國其際終署長中此号行中但以用当資 草腹小	比意思 · 重意 · 開き面是 · 歲份 · 該當事 · 卡當分間所轄整察署種痘 · 行計 該當事一 · 年經份目所轄整察署種痘 · 行計 · 揭載計	規利	「本今施行前種壹→受む者と本今の「京教部種痘規則や此き廃止す」 早殿出す 中間	本令施行の切日や朝鮮總督の此も以近が見ている。	は 生・豆 智	但同法第一條及第十條의規定 ~ 總督府	の第17.條 種痘▼開すいと本合で規 ************************************	共年齢の從み中比号其評過む定 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	齢で不拘むユ 以上も	第二條 定期の種痘・受対散めの不明む 左米 - 痘豆香做む - 痘豆香做む - 豆丼可	・ 内す善感は種痘と常該定期の種 Bar、第二期又と第二期の定期前二年 リホッ サス 神道 と 東京	行が但不善感を時も其種症を行一、解	可以 (新三期) 数寸歳十二歳 「皆府然」 一第二期 数寸歳十二歳 「皆府然」 「中府祭」 日 東 日 日 日 日 日 日 日 日	一第一期 出出三里平时一年全國米	第一條 積極や左耳定期で此事行 文字	観生年公布も中で写其全文の組定 野時から朝非種短令を図月二日附嗣令第九 年の別年 年 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	柳重 宣令 ***********************************	Cabiny of Spice
始変一期を剝やや精銀水や四百	除む外膜告科音要対せの甘 成鏡北道在前官廣平原告を登記の関む公告 總督府道碑	「金田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田	(1) 蒙小维亚等主场优重小额。 珍香府道及三十錢六號活字一行一四二十 總督府鄉屬	記 5 開社公告五號店字一行一總督府屬號店字 一行 一囘 三十錢 同	跳活字 一行 一囘四十五錢 總督府屬號活字 一行 一囘四十五錢 總督府屬	條(官報廣告料モ左斗如甘)同の郡職者が同	せ事項セラ支障の無事中立認 総督府道願許、曾用新案等も産業奨勵の 総督府道願書で、おりがするので、	清計争の計學術支護とき建了の総督府郡属と者と朝鮮総督府官報・掲載、「督府道属の代表を持ち、「新学学学」「経済の	くうもどかりないようまで、 歌音行気候・銀行育礼等の報告類点法 総督的に属婚総督府官報の掲載なる得み、 同部属	條 各官廳又七小署3廣告七 同物區印刷株式合社の前約割の可暫 同道屬	腮ャ除む外の其定價を閉館書 ・總督府郡屬條・官報を購求ユル하と者と任總督府郡守	、一部(道達費共)を三逢 総督府屬日中国送達費共)金五十五銭 同一管月分(月277日早6末) 同道屬	で、「日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の一日では、日本の		日報三年告示すぐの中、 総督府廛兼正号施行する日子三月三十一 任總督府郡守世 總督府道生	「注:) - Ciii) - III) - III -	日報發賣及廣告 任總督府道整 同,	「ヨットュ云々」 「ヨットュ云々」 「ヨットュ云々」 「ヨットュ云々」 「ヨットュ云々」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」 「いまれる」」 「いまれる」 「いま	「有む者等や官報の性質上」 總督府都守 直委員會副	では、	用析案、産業奨励を期む者と 三月三十日付に同様。こ事術、文藝、發明特 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	おり 規定すべる者の限すの場 京 城中銀行會社の報告類の法令 局 所 名の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般	が資金官級が掲載がき最早一日附官親を出れる日の中比機會の認むが「呼出符後も左撃」を1977年7月1日表表を1987年7月1日表表を1987年7月1日表表を1987年7月1日末日の第二日の第二日の第二日の	別からできる別系見され無数には機・時代の依託がガヨシュ同時の 電信 同気できる のいまれる のいまれる いっぱん かっぱん かいまい しょうしょう しょう	前別 対関系上言版→印刷斗 女智師別所→大正十一年度限→ 東、江界、江陵	含橘文書課長談 *** ***	報揭載廣告 電話規則以九佐	-	等以下二	『鹿月首』 受引月となりには「桜と化ト欠扱りるり検査陳列の對けらせ京 叶七日 但電報配り無けいる 緑電信の依む託	स	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	教商大会ではそ朝鮮米宣傳が今四月二日附年の日本東京では開催させ、朝鮮電気測定会では、一部、新聞の電気が開発を表現して、一部、野野電気	國穀物大會 關係式會社內	おり 一年七十九% 十増加 一般長男観察の日本の1一年七十九% 十増加 一般長男観察の	14日か比九年三千四%十、駅で請求やりでも日か比九年三千四%十、駅で請求や明鮮線の中間着り減少な、添りの明鮮線の東京では、1988年の1988	
	歌す命す - 忠清南道天安郡在勤 忠清南道天安郡在勤	· (八等) 忠清南道端山郡在勒李大容忠清南道洪城郡在勤	李 柄 千 同學 東 一 忠清的遺保寧郡在勤	任 洪 淳 同	宋 文 憲 同	朴 承 取以同比值员们都在勤争李 選 鎬 京畿道富川郡在勤争	在 以 以 京畿道振威郡在勤令 金 束 坤 同	南廷學原證遺蹟州郡在勤争	共	金 在 皓 同金 玉 兹江原道麝珍郡在勤圣会 玉 兹江原道麝珍郡在勤圣会		「	野崎 敏行 慶尚南道山清郡在勤寺簔浦 熊人 同 同 一 同 一 同 一 同 一 同 一 同 一 の 一 の 一 の 一 の	生野 照馬 同 日本教育 二十二 一道 京畿道長湍郡在勤幸命	杯野調 大山 い造 京畿道坡州郡在勤き命(六等) 同 同 同 日 日 日 日 日 日 日	(1947) 一一成鏡北道鍾城郡在勤者一金,正一基。同 一一 一成鏡末道三水郡在勤者	院 - 『『『『『『『『『『『『『『』』』。 『『『『『』』。 『『『『』』。 『『『『』』。 『『『』』。 『『『』。 『『『』。 『『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『『』。 『』。	川 碕 勇 江原道平昌郡在勤幸命村津保太郎 同中村 勘吉 平安北道慈城郡在勤寺 月 田 正 同	一 黄 德 純 全羅南道求禮郡在勤命	は野湖 全維南道長城郡在動きの官(五等) 全維南道長城郡在動きの官(五等)	の合の如左がのみ 全軍有道光場郡在動き 電荷 電子山郡在動き	特別 できる できる おり と 清南道帝陽郡在勤 * 「	「供「かかめのみ」 ・ 忠清南道唐津郡在勤を如のは日十三月三十 同 ・ 思清北道報恩郡在勤き	のでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本	鐵原、北湾及雄基里 全經北道與安郡在勤士	开邑、命提、順天、安 「	部中『龍山』、『光 同紀 記憶城郡在勤争	三六十十四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	プース・サース・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	送電務放射針文治 京機道始興郡在勤音命 送電報医取扱門社 宗機道始興郡在勤音命	分室・腰盤が立無		制令第十號三年公主在 1868年1865年	北手徴収替 一 同 一 一 一 で対象を かきませ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	不安北道作動を命せ 不安北道作動を命せ 「「「「「」」 「「」 「「」 「」 「「」 「」 「」 「」 「「」 「	194 全臓化道を動き命せ、全臓化道を動き命せ、全臓化道を動き命せ、	
	中の中では、中には、中の中では、中の・中では、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中には、中に	す命む 一件作阪地初付三十一圓三十三段で元、殷、常今前塲や朝來人氣斗稍可軟態を経す命む。 (出入一八圓門)	李敏率三月二十日後場	李敬植 仁川 期米	新九110 九1二取二五三	金、鴻、主》(在新四四九〇 四五〇〇四章),京、取、五四七〇 五四六〇四章),	寄る。サーラー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディ		日 日 五四八	的	P計 一・一・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	鄭 東 一取七二十五圓十銭谷付むの歩調二の計 九十銭寄付三四十五回の止む五字(清 斗 淵 一) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	·命替	全 興 文 人氣も依然不振する狀況으로文度計 新 東 新り九十一圓八十錢으로入電耳り	等 所以 後場開散無氣 所等 後場開散無氣 所等 交 憲 "其" 核光光無熱調。 6月	《命书 ――『まり未とり無きり】】 一投の金 商 契 週五十六圓五十錢亞新三圓二十錢の命书 ―― 門の七京取今週五十六圓二十錢來	朴	 京 京 の 計 原 基 ス の に 。 に に に に に に に に に に に に に	命計東地	金水近南延星	命 荣 濟	命智 十级。是三十级对比的五安取老命智 二十五圆七十级将付的吃步调四五分和五安取老 萬 用四十线。是三十级对比的五安取老	命智 斯里四十九副三十錢作寸即作步開金 振 猪。可以又工仁取得七寶買不成可五同命官 【私下场日中村金牌醮《七少數用号	金、在、皓、井口市川大島洪殷柱の五買方川崎命智、一、越八十銭の止む男や日手振りと覧方川崎智、本田手振りと関方と、「一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	朱 英 煥 4 对昂進却 4 小 其後五圓八九十錢命計 - 村錢寄付却 4 步調九十錢 2 呈六圓	李(元)権(七昨止29五十銭高も五十五四八)命官。 場人 気 そ名少 強氣 ヱ 立言 むり 京取馬傷 是一郎 男の二百七十四圓・2 入電 リッ本	高山 聰郎今朝大新9九十二國六十錢四鎮紡命計上 新 前場先高後底	命書 京 取 市 場	小川 義郎 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	安浦 熊人 一人 一丁 日 安美 己一种 尾 体 一个川府海岸町三丁目	分野 縣馬 ———————————————————————————————————	大山 松造野船	京正 张 周新 二七七、九〇 二九六、五〇 三 张 张 禄 河新 二九九、八〇 二九八、〇〇 九三、一〇	大谷市太郎大桥。一一三"五〇 一一三"〇〇	短標	商况	
	仁川宮町廣澤米	マ 廣 澤 正 次 郎 に 一次 単 に 一米豆取引所作員人 に 2000	豆反戻が中新局〇	おおいかがいる。稍々反騰の呈五節四節の場合が後二節九十銭の低價を生 三節	一、後年青根十六十二十二十二十一少季制耳呼阪中初付ニナー間二十一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	· 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	(形勢小强) 三月三十一日前場	常信略『〇ク』父そ『沖	愛 車豐錦仲買店	ا ا	高低の差外二十丁の日本 戻む側〇二銭々지上伸が作場 重自	始は日此邊の七貫氣附の 地市場の中限や不成の中先限や九 地市場の 下軟節を	すない がまべて 小邦を かまく アルガー 記録	14日は大災マリハ甲とはユ中限を不成り十先限を15日に大災4高で	すい の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	○石銭の内	方 受 方今1場左記斗如計引斗	数于無(の三班-	四周四十後の最近質量の現代の一般の最高質のは稍極では一般の一般を発生しませば、一般を表現しませば、	『茶」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大」の「大	ミニードリョー・ドー・ドー・アイ・ディー・アイ・エー・アイ・アー・アイ・アー・アイ・アー・アイ・アー・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	では、	京朝を示りた二十四 ▲第六流十萬七千餘 早増加 書 ・ も後 8 を 1 日 1 日	僧舎示すユ七十二銭の男地方廻着り稀灁すず 有僧	△ 叶新年財界 B 稍可	関三十丁上鞘ユニナニ風の 頭の活氣を帶하立去一月四 一	サル貿易が旺盛が	十五錢以以反落하五反前六圓〇五) 後反前九年二十六圓〇三錢の始前昨五圓九二十六錢の一十六錢的五	24下以上十二段の止す	猛貝限烈い	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 後の星前比價보中 中四銭 中の大型 中四銭	一番後○二段第二節	取引所仲貿人 本第二次	「「「「「」」は、9~9~4を10分割には、10~9~9~4を10分割に十一周二十一条第一分割には、10~9~9~4を10分割には、10~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9~9	とは今年の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	中での日本語の	電話へなる。金漢鍾	友人李		全 原 孫	癸亥二月十二	二十六圓二十錢一十二日日時二十六圓十七錢一十二日日時	九段三二番	愛之助	常町三丁目	が 一般では一名 は 一般では 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	日子窺脱하正 いませい	中賣方4目 第2条 最終篇 戸	「一十四丁の月一進一退」 医外科 1十四丁の月一進一退」 医外科	w親選計中川むり仮二米かせ既の巨大む石敷を終せれる然所地の一流筋終	ッム中場面を亦首重最 第十三篇 前提当・二十圓二十 退紀 7 月 8	의情勢 王号外叫旗	長二七二番喜劇大の日本	町 根米國予社会	八 喜劇 眼上	後 発 美 三 一	局本屋	九節五十二銭也又	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	坂倉仲買店 30 厚爆 彈 兒	の上が中で大鍋やお小屋、米園かの子を以下で	お五節 阪地八節五十七銭当情西 部 列甲人と外五節 阪地八節五十七銭当情西 部 列甲人と外十七銭当止計ら	すらこのでは、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	大阪七節五十九段早報 一三六八番	是次郎 當到	引所仲買人 土土	世後二十二錢二里 室 門湖 21 十五錢叫始村 京城鎮路 12	五衛五十八郎五月大八七十八日の四銭は、八八郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎の一郎	中限・亦不成り中に侵金に十四級四十四級セク	別対明中の脱ると昨止便の比が、このでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	日本依然硬勢日本作	



